

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏 - 1	(2) 記載者氏名:	小林 義亮	会員番号:	10302	事務局整理記入欄	スキークラブ - 8
(4) 分水嶺区分	E351馬坂峠 ~ E352台倉高山 ~ 1928m地点	(3) 山行日:	2005年	6月	25日	(4) 天候:	晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

高原 三平	7949	日出平 洋太郎	13677					
早川 英夫	8273							
小林 義亮	10302							
福岡 孝昭	12185							
計			5名		計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	檜枝岐 ~ 馬坂峠 ~ 台倉高山 ~ 4月30日引返し点 ~ 台倉高山 ~ 馬坂峠 ~ 檜枝岐												
アプローチ:	檜枝岐から馬坂峠まで往復車使用												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	馬坂峠												
分水嶺到達点E351	馬坂峠	帝釈山	139	27	31.0	36	57	50.0	1760		5:25		
E352	台倉高山	帝釈山	139	26	28.0	36	56	42.0	2058	7:20	7:40		
	1928m地点(1981m ピーク北側鞍部)	帝釈山	139	25	55.1	36	55	54.5	1928	10:00	10:20		
	(引き返し点)	帝釈山	139	26	28.0	36	56	42.0	2058	12:25	12:45		
E352	台倉高山												
分水嶺離別点E351	馬坂峠	帝釈山	139	27	31.0	36	57	50.0	1760	14:35			
歩行終了点	馬坂峠												
総歩行時間(休憩時間を除く):												8時間10分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E352					台倉高山の三角点については2004年10月10日報告(スキークラブ - 6)に記載

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

馬坂峠から台倉高山までは近年切り開きが行われ、踏み跡が完全な道となりつつあるが、2033m地点にある池塘が荒らされる恐れあり、登山者増加の前に木道などの設置が急務であると思われる。
台倉高山から先は廃道となっていて藪が深く、通過は困難を極める。

(9) 水および植生に関連した特記事項

台倉高山の西南鞍部にもきれいな池塘が自然のままに残されている。大切にしたいものである。
---

(10) その他の特記事項

GPSにより2005年4月30日の踏査引返し点にその時付けた赤布を迷わず視認した。当時付けた赤布は4メートル上の枝にあり、雪解けの進んだ当時でもなお2~3メートルの積雪があったことがよく分かる。
---

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	台倉高山を望む
	厳しい藪の状況

山行報告書(続き)  
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



台倉高山を望む



厳しい藪の状況